

## ネイティブ大腸菌ペニシリンアミダーゼ

Cat. No. NATE-0541

Lot. No. (See product label)

## はじめに

**□明 E. coli**におけるペニシリンアミダーゼ $\mathfrak{O}$ 生合成は、疎水性タンパク質クロマトグラフィーによ

る誘導反□であり、代謝された炭素源(例: ポリオール、カルボン酸など)によって調節されます。また、分解代謝抑制の影響も受けます。これは、アシル-酵素中間体を介してアミド結

合の形成を触媒します。

用途 ペニシリンアミダーゼは、抗生物質の分解におけるAHL(N-アシルホモセリンラクトン)から

の脂肪酸およびHSL(ホモセリンラクトン)の放出に□する効果を研究するために使用されました。これは、Lactobacillus属における胆汁塩加水分解酵素およびペニシリンアシラーゼファミリーの機能解析の研究において、ペニシリンGアシラーゼ活性を測定するための陽性□照として使用されました。ペニシリンアミダーゼは、ペニシリン-Gから6-アミノペニシラニン酸

の合成や、 $\beta$ -ラクタム抗生物質の工業生産に使用される可能性があります。

別名 ペニシリンアミダーゼ: ペニシリンアシラーゼ; ベンジルペニシリンアシラーゼ; ノボザイム

217; セマシラーゼ; α-アシルアミノ-β-ラクトンアシルヒドロラーゼ; アンピシリンアシラー

ゼ; EC 3.5.1.11; 9014-06-6

## 製品情報

*由来* 大腸菌

*形態* タイプII、硫酸アンモニウム懸濁液、 $0.1\,\mathrm{M}$ リン酸塩中の懸濁液、 $\mathrm{pH}\,7.5$ および $3\,\mathrm{M}$ 硫酸アン

モニウム。

**EC**番号 EC 3.5.1.11

**CAS**登□番号 9014-06-6

*分子量* Mr ~70 kDa

活性 タイプI、5-10単位/mgタンパク質; タイプII、> 10単位/mgタンパク質 (E1%/280)。

**単位定義** 1 Uは、pH 7.6および37°Cで1 $\mu$ molのペンジルペニシリンを1分間に加水分解する酵素の量に

相当します。

## 保管・発送情報

*保存方法* 2-8°C